

大淀中学校だより 『環』

祝 卒業

第 19 号
京都市立大淀中学校
令和3年 3月15日
文責 油谷

校長式辞

(前号からの続き)

この苦しみをどうとらえ、どう乗り越えていくのか？

答えは誰も教えてくれません。

自分で探すしかないのです。だからこそ、最初からできない理由を探して欲しくないのです。

今年掲げた大淀スピリットの中に「卑屈でなく」という言葉があります。

まさに卑屈になることなく、心のコップを上向きにして、

人生をゆっくりで良いから一歩ずつ一歩ずつ進んで欲しいと願っています。

2つ目は「仏様の指」という話をしたいと思います。

「仏様があるとき、道ばたに立っていらっしやると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこは大変なぬかるみであった。車は、そのぬかるみにはまってしまって、男は懸命に引くけれど、車は動こうともしない。その時、仏様は、しばらく男の様子を見ていらっしやいましたが、ちょっと指でその車にお触れになった。その瞬間、車はするっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いていってしまった。」

困っている君、頑張ろうとしている君を「仏様の指」になり、皆さんの背中にそっと触れてくれたのは、誰だったのでしょうか。

昨年6月、学校が再開した時、学年主任の小林先生が、

「君たち一人ひとりが協力し合い、助け合いながら自分自身を大切に、進路実現をして欲しい。

3年の教職員みんなで応援してるよ」と言われましたね。

この温かい言葉にあるように、まさに生徒と先生の距離が近く、

そして、いっぱい「仏様の指」があった学年だったのではないのでしょうか。

校長として、その「仏様の指」になった全ての教職員に言葉に言い表せないほど、

感謝をしています。

(一部省略)

保護者の皆様に、高いところからではありますが、ひとこと、お祝いを申し上げます。

本日は、お子さまのご卒業、誠に、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

ここまで育ててこられた十五年間は、一言では言い尽くせないご苦労があったと思います。

今日のこのご卒業の感激は、感慨無量のことと思います。

しかし、そんなご苦労があつて、こんなにも素晴らしく心温かい子どもに成長してくれたのだと思います。

本校では今年度「**明朗・公正で卑屈でなく、やり出したら最後までやり抜く**」という

大淀スピリットを掲げ、学校教育目標を「**自主・自律の態度と共生の心を育てる**」として、

教職員ひとつになって取り組んできましたが、生徒達にどれだけ力がつけられただろうか自問自答しております。

時には、我々の力不足により、そのお気持ちを汲むことができないこともあったかもしれません。

本日、義務教育を終了したとはいえ、これからが本当の勉強であると思います。

どうか、一層の愛情を持って、心豊かに成長されますようご指導をお願いいたします。

また、ご来賓の皆様方におかれましては、公私ともご多用のところ、ご臨席賜り、

花を添えてくださいましたこと、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

今巣立つ卒業生、そして在校生ともに末永くご指導いただきますようお願い申し上げます。

結びに卒業生の皆さん、大淀中学校の校長として、皆さんを本当に誇りに思っています。

この3年間、大淀中学校で一緒に生活ができたことをとても幸せに思っています。

本当にありがとう！

最後に3年生最初の学年集会で皆さんに贈った相田みつをさんの詩を読み、

皆さんが自分らしく生きていってくれることを願い、私の式辞とします。

道

長い人生にはなあ
どんなに避けようとしても
どうしても通らなければならぬ道というものがあるんだなあ
そんなときは その道を黙って歩くことだな
愚痴や弱音を吐かないでな
黙って歩くんだよ ただ黙って
涙なんか見せちゃダメだぜ
そしてなあ そのときなんだよ
人間としてのいのちの根がふかくなるのは

みつを

令和3年3月15日

京都市立大淀中学校

校長 油谷 昇

3年生を送る会（3／11）



オンラインで「3年生を送る会」を開催しました。

事前に各学年で企画し、撮影したビデオ視聴を中心に構成されていましたが、何と云ってもその中身がすごかったです。

黒板アートやダンス、メッセージボード、各教室やグラウンド、体育館や音楽室など思い出の学舎を網羅し、3年間の思い出が振り返られるように上手に編集されていました。

これも生徒の手によって作成されたと聞きました。

このクオリティーの高さに感服しました。

そして3年生からは後輩へたくさんのメッセージを降り注いでくれました。

それを見て、心の中がキュンとなる感動、本当に思い出に残る素晴らしい3年生を送る会となったと思います。

これまで生徒会本部の皆さんが中心になり、そして各学年がそれぞれ心ひとつに仕上げてくれたことで、また一段と大淀中学校が成長できた日になったのではないのでしょうか。

3年生の皆さんがこの大淀中学校で過ごしてくれたこと。

ここにいてくれたこと。

存在していてくれたこと。

このこと自体が本当に素晴らしいことだと思います。

後輩たちはその後ろ姿を刻み、これからその伝統を受け継いで、より良きものにしていってけると信じています。

本当に素晴らしい「3年生を送る会」でした。

